

Y09b リーダー教育に天文学は役立つか？

高梨直紘（東京大学 EMP）

東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（東大 EMP）は、将来の組織の幹部、特にトップになる可能性のある主に 40 代の優秀な人材を対象としたプログラムである。現在までに東京大学に所属する幅広い分野の研究者を中心とする講師陣との議論を通じ、各分野に特有の世界観や思考様式を学び取っていくことで、課題設定・形成能力を醸成していくことを目的としている。ビジネス分野からの参加者が主であるが、行政やプロフェッショナルなど、さまざまな組織や個人が参加している。

プログラムで行われる講義は多岐にわたるが、全部で 120 コマ程度ある講義群のうち、少なくとも 3 コマは天文学に関する講義が行われている。それに加え、泊まりがけの星空観望会や宇宙ビューワー「Mitaka」の上映、IPMU や国立天文台見学会など、天文学や宇宙に触れるさまざまな機会が提供されている。アンケート調査によれば、天文学分野の講義は常にもっとも印象深い講義のひとつとして挙げられており、高い評価を得ている。一見するとマネジメント能力の醸成とはなんら関係がないように見える天文学が、受講生らにとってどのような意味を持っているのだろうか。

本講演では、このような社会人向けの教育において天文学がどのように役立っているのか、あるいは役立つ可能性があるのかについて、東大 EMP の事例を元に議論を深めたい。